



未来を担う子どもたちの声を町政に！

荻田町SDGs 子ども議会

子どもたちがSDGsの視点から町に提言を行う「荻田町SDGs子ども議会」を、2月4日に開催しました。子ども議会には、町内の小中学校から32名の子ども議員が参加し、様々なテーマから子どもならではの視点で町へ提言を行いました。

未来を担う子どもたちが
町の将来を考える

荻田町では、SDGs（持続可能な開発目標）を積極的に推進するため、「一人を荻田を地球を想う」今こそ行動SDGs」をスローガンに、令和3年にSDGs推進本部を立ち上げました。推進本部の発足以降、町は地域・学校・企業などと連携しながら、持続的な町づくりを目指して様々な取り組みを進めています。

今回、その推進活動の一つとして、町の未来を担う子どもたちに社会への関心を高めてもらうと、子どもたちがSDGsの視点から町に提言を行う「荻田町SDGs子ども議会」を2月4日に町議会議場で開催しました。

子ども議会には、町内の小学校6校、中学校2校を代表して計32名が参加。子どもたちは、事前学習会でSDGsや議会の基礎を学んだあと、各校ごとに関心のあるテーマについて現状や課題を丁寧に調べ上げ、議会に臨みました。

今回は、事前学習会から議会当日までの模様をお伝えします。

議会当日に向けて

町の取組みや課題を学習

子ども議員が初めて一堂に会したのは昨年12月22日。議会に参加する子どもたちにSDGsや町議会について学んでもらおうと、町役場で事前学習会を行いました。

学習会ではまず、町長が子どもたち一人ひとりに議員任命書と町のSDGsバッジを授与しました。その後、町職員が町のSDGsの取り組みや町議会の仕組みなどを説明し、実際に提言を行う議場を見学しました。子ども議員たちは、初めて訪れ

る議場の大きさに驚きながらも、壇上に立ったり、議席に座ったりして、議場で提言する姿をイメージしていました。

学習会を終えた子ども議員たちは、それぞれの学校に戻り、提言に向けた準備に取りかかります。関心のあるテーマを選び、本やインターネットで下調べをしながら、専門家に話を聴いたり、校内でアンケートを行ったりして、提言内容の充実に向けた取り組みが、分かりやすく伝えるための動画やスライドも作成し、準備万端の状態での議会開会の日を待ちました。



子ども議員と議長の紹介



荻田小学校



馬場小学校



南原小学校



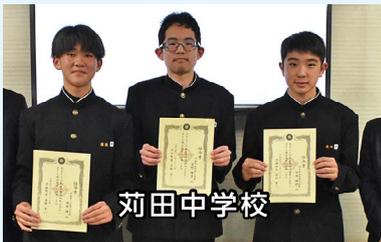
与原小学校



片島小学校



白川小学校



荻田中学校



新津中学校



新津中学校
森山議長



荻田中学校
渡邊議長



持続可能な社会へ 様々な分野から町に提言

子ども議会当日の2月4日、議場には子ども議員全32名が勢揃いし、緊張した面持ちでそれぞれの議席に着席。向かい側の執行部席には町長、副町長、教育長が並び、傍聴席には保護者や先生、町議会議員などが多数見学に訪れました。

議会では、4校ずつが前後半に分かれて提言を発表。前半は新津中の森山さんが、後半は刈田中の渡邊さんが議長を務め、議長席から議事を取り仕切りました。

議会が始まると、各校の子ども議員が、それぞれ取り組んできたテーマ（詳細は次ページ参照）について、グラフやスライドを用いながら町の現状や課題について説明しました。子どもならではの視点で、今後、町に取り組んでほしいことや改善してほしいことを提言しました。

提言が終わると、町を代表して町長が提言に対する答弁を行いました。町長は、それぞれの提言の内容に沿って、町がこれまで取り組んできたことを具体的に紹介しながら、



今後改善できることなどについて説明。質疑応答を交わしました。すべての提言への答弁を終えると、「これからの行政運営に取り入れることがたくさんありました。貴重な提言をありがとうございました」と子ども議員たちに感謝の言葉を述べました。

最後に、井上教育長が議会の講評と子ども議員への労いの言葉を述べ、子ども議会は幕を閉じました。

町では今後、子ども議員の皆さんからいただいた貴重な提言についてしっかりと検証を行い、持続可能なまちづくりに生かしていきたいように努めていきます。

子ども議員の提言一覧（概要）

子ども議員の提言内容（概要）は下記のとおりです。詳しい提言内容や子ども議会の会議録は町ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。

学校	主な提言内容	SDGs 関連項目
苅田小学校	日本国内の家庭や事業所から、年間で約 523 万トンも排出されている食品ロスを減らしていくため、食品ロスの削減に向けた取り組み支援や PR ツールの配布、効果的な PR 方法の周知などを行う。	
馬場小学校	殿川のホタルを次の世代に残していくため、「苅田町ホタルまつり」を開催してたくさんの人に町のホタルを見てもらう。また、「ごみ拾いオリンピック」や「グルメグランプリ」を開催して、町の環境美化やホタルまつりの PR につなげる。	
南原小学校	「ジェンダー平等を実現しよう」「住み続けられるまちづくりを」「つくる責任つかう責任」を達成するため、女性管理職の積極的な登用や公園などへのごみ箱の設置、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の PR などを行う。	  
苅田中学校	外国人がごみ出しのルールを理解しやすいよう、ごみ袋やごみ箱にマークや色を付ける。また、自然災害からの被害を防ぐため、各公園に食料などを保管する防災倉庫や、トイレなどの機能を持つ防災ベンチを設置する。	 
与原小学校	地元の大切な文化財である「御所山古墳」を通じて町の魅力を広く発信するため、古墳のライトアップや古墳を活用したイベント、町の小売店や製造業者と協力して古墳の商品化（食べ物やお土産など）を行う。	 
片島小学校	都会と田舎の両方の魅力を持つ「トカイナカ・苅田」をアピールするため、町内外の駅や空港に町の魅力が伝わるポスターを掲示する。また、苅田まちづくり観光協会と協力して、SNS などを活用しながら町の魅力を発信する。	 
白川小学校	白川の美しい自然や田んぼを守るため、移住促進で町の税収を増やしたり、ふるさと納税で白川米を売ったりして、お米づくりをしている人たちへの経済的なサポート体制などを充実させる。	
新津中学校	児童虐待をなくすため、学校に通うすべての子どもに心理カウンセラーなどと話す機会を設けたり、小中学生が見ても分かりやすい虐待に関するパンフレットを作ったりして、虐待の早期発見を行う。	